

産経新聞 27.10.14

両陛下、年明けフィリピンご訪問へ

天皇、皇后両陛下が、年明けにフィリピンを訪問される方向で政府が調整を進めていることが13日、明らかになった。菅義偉官房長官が会見で明かした。来年、両国が国交正常化60年を迎えるのに合わせた国際親善が目的だが、両陛下は先の大戦の激戦地だった同国に長年、心を寄せられており、宮内庁は戦没者慰霊の日程を組み入れる方針。

宮内庁によると、ベニグノ・アキノ大統領が6月に国賓として来日した際に招請があった。来年5月に大統領選があるため、影響がでないように1月末か2月初めで調整中。両陛下は皇太子ご夫妻時代の昭和37年に同国を訪問されている。

天皇陛下は6月、アキノ大統領を歓迎する宮中晩餐（ばんさん）会のあいさつで「先の大戦において多くの貴国民の命が失われました。このことは日本人が深い痛恨の心とともに、長く忘れてはならない」とご発言。「慰霊の旅」を続けている両陛下は、平成17年6月にサイパンを、今年4月にはパラオ共和国を訪れ、戦没者を追悼されている。